

# 高商連ニュース

<田口県労連委員長のブログ(7/23)より転載>  
**高知憲法アクション 市民と野党の政策討論会**



7月22日、高知憲法アクションが「市民と野党の政策討論会」を高知新聞文化ホールで開催しました。

高知憲法アクションは、4月11日に衆議院選挙へ向けて23項目の政策を発表、民進党、共産党、社民党、新社会党の県内4野党に提示。このうち民進党、共産党に対しては候補者一本化と政策討論会への出席を要請していました。会場にあふれる140人が参加し、活発な討論を行いました。

司会は、市民の立場で選挙フェスなどの取り組みを行ってきた小幡久美子さん。憲法アクションの呼びかけ人で高知大学助教授の岡田健一郎さん。

民進党からは、広田一県連代表、武内則男代表代行、中山研心政調会長。

共産党からは春名直章県委員長、松本顕治衆議院1区国政対策委員長、島崎保臣衆議院2区国政対策委員長。

まず3氏から憲法アクションの政策への評価、今の政治状況、安倍首相の憲法明文改憲の動きに対する思いが語られました。

続いて、各党から6月8日の中央での4野党の合意に沿った野党共闘の具体化などについて考えが示されました。

休憩をはさんで、社民党、新社会党から野党共闘への強い思いが語られ、フロアから質問や意見表明が活発に行われました。

政策の打ち出し方(させる・するとといった主体的表現へ。「国に憲法をやらせる」がメインであるべきではないか、戦争法か安保法関連法か・本質と受け手の捉え方、政策の並列ではなく心に届く訴え方の工夫・・・)、財源問題(消費税、富裕層課税、所得税の累進性強化、証券優遇課税の廃止・・・)、日欧EPA(経済連携協定)の高知県経済への影響、医療政策など更なる具体化、伊方原発への評価、論議の場づくり、早急な候補者一本化等々多彩な意見が出されました。

従来、スローガ的な政策になりがちであったものが、それぞれの立場からより政策を深める討論が行われました。

また、大枠での合意と各論での相違点も見られました。それが、共闘を乱す要素ではなく、多様性を示し共闘の幅の広さを示すものとなりました。

今後、討論の場を工夫し、更に政策論議を共闘強化、候補者調整の前進と結びつけて行うこととなります。その第一歩になる討論会となりました。

## マイナンバーで 南国市、香美市と交渉

6月26日(月)特別徴収にマイナンバーが記載されている件で南国市に交渉に行ってきた。南国市から5名、香美郡民商から5名参加しました。

南国市からの公文書局長から事業主への通知書にマイナンバーを記載されても管理できない現状を話し、返還したい旨を要望しました。南国市の山田税務課長の返答は「法律に基づいて行っていることなので、受け取れませんが」の一点張りです。特別徴収の通知書にマイナンバーを記載する必要性については納得のいく答えは出ませんでした。

30日(金)は香美市に香美郡民商の会員事務局員5名の参加で交渉に行ってきました。香美市は、秋月税務課が「法律に則った対応」として南国市と基本的な同じ回答でした。交渉に参加した会員からは「民商から連絡があつて初めてマイナンバーが記載されていることを知った」「周知徹底が不十分ではないか」「私たち事業主は従業員の個人番号を管理する責任がある」「情報が漏れいってしまうと責任を取るのには私たちが」と一方的な管理義務の押し付けに対する不満の声があがりました。

香南市には申し入れ自体をお断りされました。(7/10香美郡民商会報)



8・15戦争を語り継ぐつどい

## 戦争遺跡を「平和の砦に」

講師 出原恵三氏

(戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表)

8月15日(火)10時~12時

人権啓発センター6階ホール

参加費  
500円

## 8月1日からスタート 高商連共済会独自給付金制度

- ① 米寿祝金 20,000円  
加入者が88歳になった月に給付します。  
※誕生月の初日を受給資格日とします。
- ② 白寿祝金 30,000円  
加入者が99歳になった月に給付します。  
※誕生月の初日を受給資格日とします。
- ③ 出生祝金 10,000円  
配偶者が出産した加入者に給付します。
- ④ 2日入院見舞金 6,000円(3000円×2日)  
1泊2日の入院に対して給付します。
- ⑤ 米寿経過措置祝金 10,000円  
8月1日にすでに88歳超となっている加入者に対して給付します。

\*8月を米寿経過措置祝金を届ける月間にします。民商、婦人部とも協力して役員の手で届けましょう。